

理科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解する力	観察・実験の事象や結果を分析して解釈し、表現する力

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー分野において、説明を理解し、光の道すじの作図をすることに難しさを感じる生徒が多くいた。<input checked="" type="checkbox"/> 観察や実験における学習課題に沿った考察や分析が苦手な生徒が多くいた。<input checked="" type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> 地球分野、地震の小単元におけるグラフの読み取りや、エネルギー分野、光の道すじの小単元における作図について、説明から必要な情報を読み取ることや、線が通る箇所を隨時確認する。<input checked="" type="checkbox"/> 学習の流れを毎時間提示し、解決したい課題を視覚に残すなど明確にする。<input checked="" type="checkbox"/> 	<input checked="" type="checkbox"/> 9~12月 <input checked="" type="checkbox"/> 毎単元	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が学習したことを応用することに難しさを感じる様子が全体的にみられた。また、時間が経つてから再度応用することにも課題があると見られた。<input checked="" type="checkbox"/> 結果をもとに考察する際に、得た情報を正しく漏れなく表現することに課題が見られた。<input checked="" type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習を繰り返し行うなどして定着させ、日常生活に生かすなどして、応用を充実させる。<input checked="" type="checkbox"/> 実験の結果をもとにグループで話し合せ、考察したことを比較するなどして、表現する力を身に付ける。<input checked="" type="checkbox"/> 	<input checked="" type="checkbox"/> 毎単元 <input checked="" type="checkbox"/> 実験後毎時間	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事物・現象や基本的な概念、原理・法則を理解する力はある程度身に付いているが、それを日常生活に生かそうとしたり、粘り強く学習したりすることなどに課題が見られた。<input checked="" type="checkbox"/> 実験をもとに考察する際に、文章で表現したり、新たな課題を見付けたりすることに難しさを感じる様子がみられた。<input checked="" type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の導入部分で日常生活に関連することを取り上げたり、学習したことを適宜ふり返ったりすることを通して、理解したことを活用させる。<input checked="" type="checkbox"/> 観察・実験を通して、さまざまな資料を用いたり比較したりするなどして、生徒に気づかせる場面を増やし、学習課題に沿って必要な情報を整理して表現させる。<input checked="" type="checkbox"/> 	<input checked="" type="checkbox"/> 毎単元 <input checked="" type="checkbox"/> 実験後毎時間	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について

- 1年→既習事項や生徒の考えを用いた話し合い活動を積極的に取り入れながら、タブレット端末で生徒にあった課題を選択できるよう工夫する。【重点:個別】
- 2年→観察・実験の際にタブレット端末を活用して撮影したりデータを採集したりするなどして、結果を共有する。共有したことについて個人の考えをもたせながら、班で話し合って考えを深める。【重点:協働】
- 3年→学習課題について生徒が予想したことや考察したことを、タブレット端末を用いてクラス全体で共有し、観察や実験に対する振り返りを個々で行う。【重点:個別、協働】

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- 1年→学習課題を毎時間確認して、学習課題ごとに振り返りをする。振り返りをする際には、実験計画や、考えたこと、生徒の到達度や学習に取り組む姿勢等の振り返りをさせる。
- 2年→単元の学習前、毎時間、単元の学習後に、授業の流れやめあてを明確にして、見通しをもたせる。学習前と学習後でそのときの生徒の考えを記録させ、自身の変容を感じたうえで、学びに向かうための目標を立てさせる。
- 3年→はじめに単元全体の学習の流れの見通しをもち、学習後に振り返りを実施する。今後の学習や、身近な生活に生かすための工夫を生徒に考えさせる。

